

配電網整備 Power Distribution Grid		継続	
対象国の条件:			
研修コース番号:(A)201984590-J002/(B)201984870-J002			
案件番号:(A)201984590/(B)201984870			
主分野課題:資源・エネルギー/エネルギー供給			
副分野課題:			
使用言語:(A)英語/(B)英語			
<b>案件概要</b>			
日本の配電網は世界でも有数の安定性・効率性を有している。研修員は、本邦の電力会社の技術者からの講義や実習、研修センターや配電設備の建設・保守現場の視察を通し、実用的な配電計画や設計、実践的な運用・保守方法を学ぶとともに、日本に技術的比較優位がある製品、技術等の理解を深める。また、各国の中核人材が集まることで、各国研修員間及び日本人専門家とのネットワーク形成や帰国後の各国での研修成果の普及・実践も期待される。			
<b>目標/成果</b>		<b>対象組織/人材</b>	
<b>【案件目標】</b> 本邦にて習得した包括的な知見をもとに、配電計画、設計、維持管理に係る自国が抱える課題の解決に向けた計画が策定される。		<b>【対象組織】</b> 配電事業を所管する省庁もしくは電力公社	
<b>【成果】</b> 1. 自国の配電網にかかる問題やその原因をデータをもとに見出し、説明できる。 2. (上記1.の課題に対し)日本の対策を理解し、自国との相違点を説明できる。 3. 効率的かつ安定した電力供給を行うために、優先順位付けされた解決策を策定し、アクションプランとして説明できる。		<b>【対象人材】</b> <職位>中間管理職レベルの電気技術者 <職務経験>配電分野における経験年数5年以上ある者 <その他> 1. 技術系の高等教育機関卒業もしくは同等の知識を有する者、2. 一定の英語力、3. 30歳から40歳程度の者が望ましい。	
<b>内 容</b>			
<b>【事前活動】</b> 業務内容、自国の電力事情を記載したカントリーレポートおよび問題分析表を作成する。 <b>【本邦活動】</b> 各単元目標において、以下の内容の講義、実習、視察、討論を行う。 1. 日本・沖縄/関西の電力事業・送配電設備の概要(日本の電力会社の組織マネジメント、配電分野の人材配置、人材育成を含む) 2. 日本・沖縄(配電網A)/関西(配電網B)の配電設備の計画・設計 3. 日本・沖縄(配電網A)/関西(配電網B)の配電設備の運用・保守(SAIFI, SAIDIの重要性を含む) 4. 日本に技術的比較優位がある製品、技術の紹介 5. アクションプラン作成とプレゼンテーション  (注) Aコースは途上国(特に島嶼部等の離島を含む場合有益な部分が含まれる)の標準的な配電網、Bコースはスマートグリッドの紹介を含む都市型の配電網とする。		<b>本邦研修期間</b>	(A)2019/5/8~2019/6/14 (B)2019/11/4~2019/11/26
		<b>担当課題部</b>	産業開発・公共政策部
		<b>所管国内機関</b>	(A)JICA沖縄(市民参加) (B)JICA関西(業務二)
		<b>関係省庁</b>	経済産業省
		<b>実施年度</b>	2017~2019
<b>主要協力機関</b>	(A)海外電力調査会/(B)海外電力調査会		
<b>特記事項及びホームページ</b>	Aコース(標準)はJICA沖縄にて4週間、Bコース(都市型)はJICA関西にて3週間実施予定。Bコースは3年目は実施しない可能性あり。		